

学校評価アンケート結果について

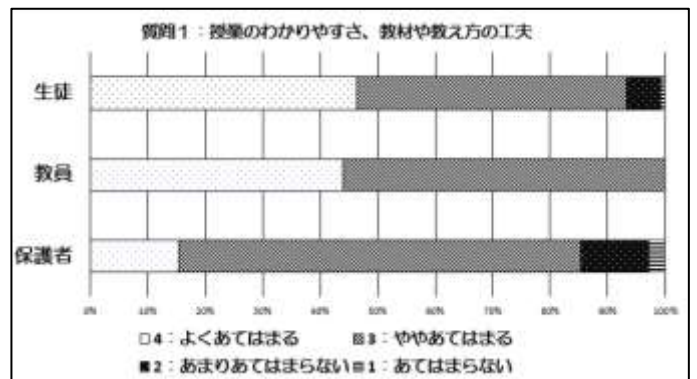
早春の候、皆さまにおかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、1月に実施しました学校評価アンケートにご協力をいただきありがとうございました。質問項目における生徒、保護者、教員の違いに着目し、成果や課題の把握に努めました。質問文によっては正確に表現するのが難しく、結果に影響していると思われる部分も散見されましたが、いくつかの成果や課題を拾うことができたと考えております。ご報告いたします。

〈アンケート結果と考察〉

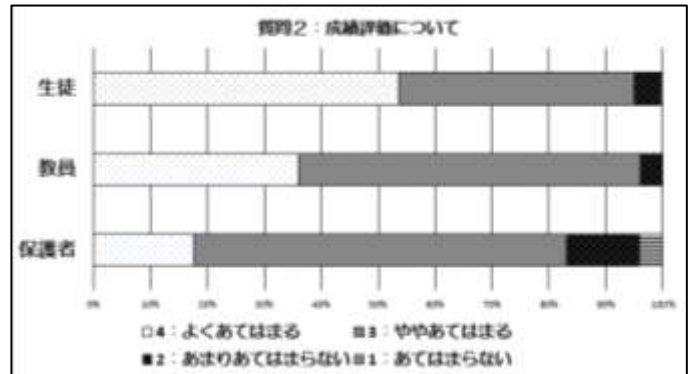
質問1「授業のわかりやすさ・教材・教え方の工夫」

概ね良好ではあるが、生徒・教員と比べると保護者の肯定的な意見の割合が少ないことがわかる。教員は独りよがりにならず、生徒たちの授業での反応や保護者からのご意見などにも目を向けて取り組んでいきたい。



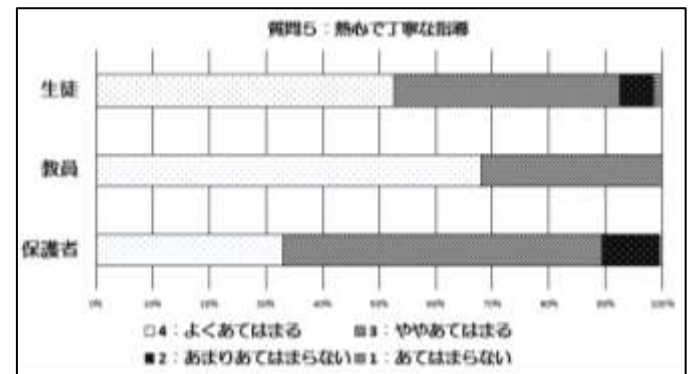
質問2「成績評価について」

生徒の「よくあてはまる」「あてはまる」評価の割合が多く、自身の取り組みに対する評価については一定の納得感があることが見て取れる。その一方で、保護者については、学校での子どもの様子が見えないこともあってか、生徒との納得感の違いが表れていると推察される。教員はこの差を埋めるために、評価についての説明をさらに丁寧に行っていく必要がある。



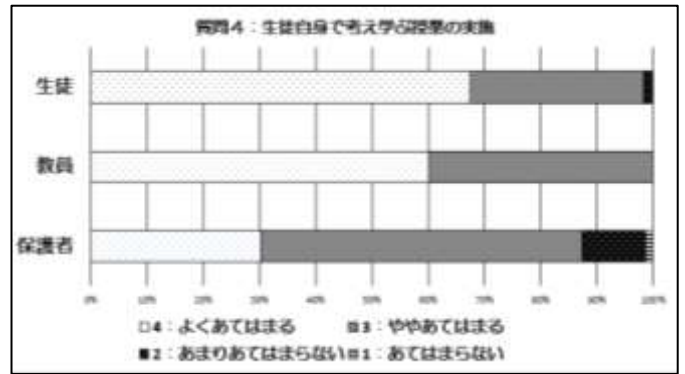
質問3「熱心で丁寧な指導」

指導側である教員の「よくあてはまる」「あてはまる」割合が最も高くなっている。生徒からも教員ほどではないが、肯定的な意見の割合が多くなっている。保護者の意見は質問2の成績評価と同様に生徒との差が生じているので、この差を埋められるよう誠実な姿勢と家庭との連携に努めていきたい。



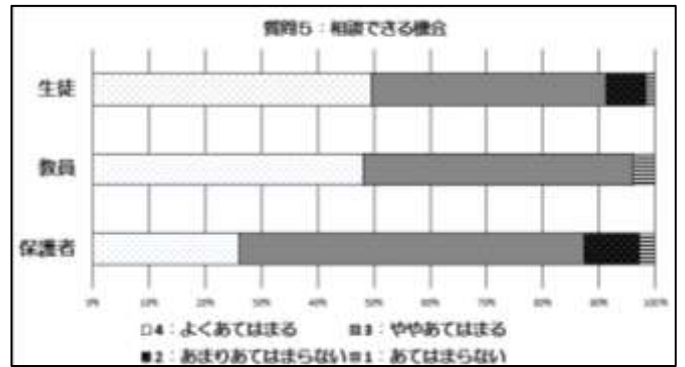
質問4 「生徒自身で考え学ぶ授業の実施」

全体的に肯定的な意見の割合が多い。各教科における「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の推進により、他者と協働して考えを広げ、本質的な理解へ向かう姿勢が高まってきていると考えられる。今後もさらなる向上を目指したい。



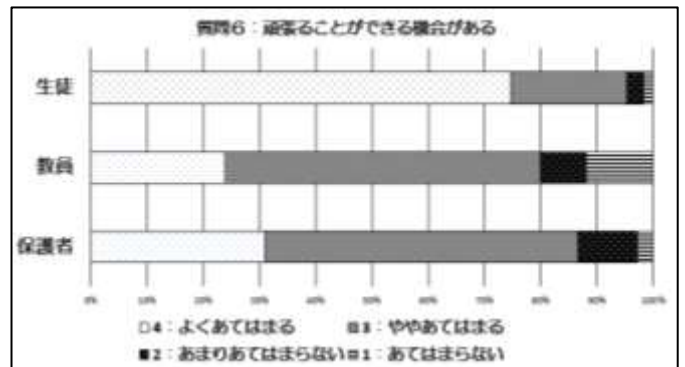
質問5 「相談できる機会」

ここにはデータがないが、昨年度に比べると生徒・保護者の肯定的な回答が1～2割程度伸びている。この理由として、令和7年度は冬季休業前の三者面談を導入したことや、教育相談を毎回5日間ずつ確保していることなどが考えられる。引き続き相談できる体制を続けていきたい。



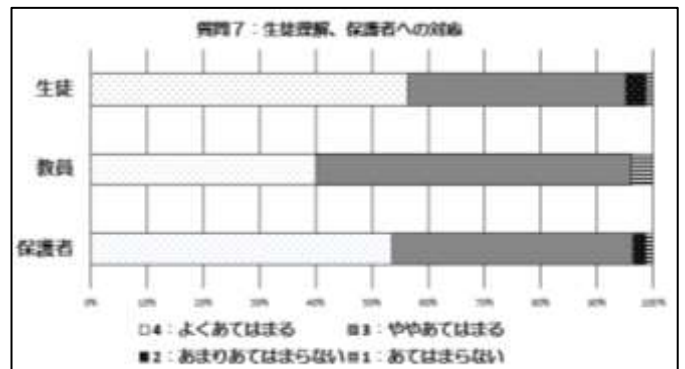
質問6 「頑張ることができる部活、委員会、行事などがある」

生徒・保護者の肯定的な意見が教員を上回っている。生徒自身は意欲的に頑張っているが、教員は「まだまだいける」との思いからであろうか、否定的な意見も一定割合ある。現状に甘えることなく、より良くする取り組みを考えていきたい。



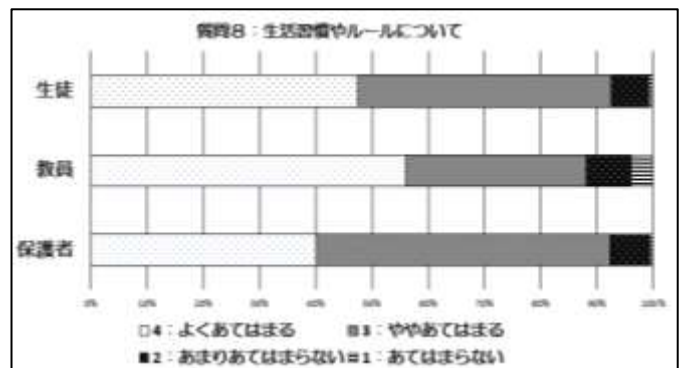
質問7 「生徒理解、保護者への対応」

生徒・教員・保護者のいずれからも肯定的な意見が高い割合を示している。引き続き誠実な対応を続け、信頼関係の構築に努めたい。



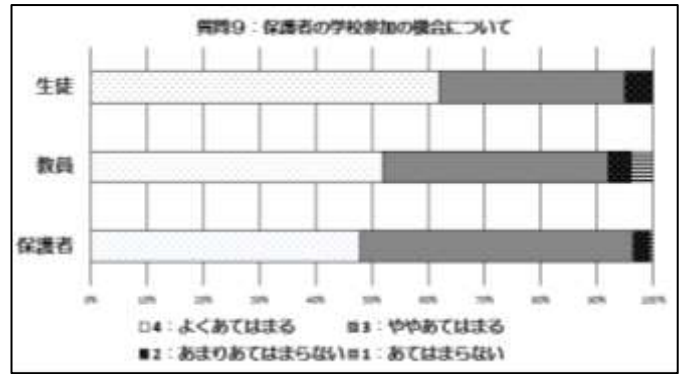
質問8 「生活習慣やルールについて」

生徒・教員・保護者のいずれからも肯定的な意見が高い割合を示している。しかし、三者ともに1割程度が否定的な意見を示していることから、学校生活の送り方について何かしらの不自由を感じている可能性がある。絶えず客観的な視点を持って学校のルール等を見直し、より良い学校生活を作りたい。



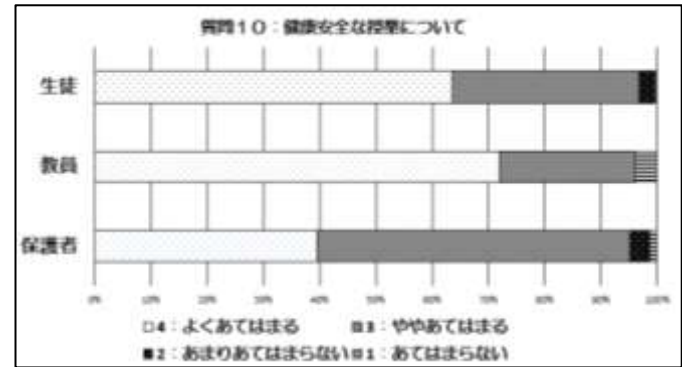
質問9 「保護者の学校参加の機会について」

肯定的な意見が三者ともに9割を超えている。今年度は体育祭の平日開催となったが、保護者の参加率は9割近くとなり、高い関心をもっていただくことができた。その一方で、平常時のオープンスクールについては参加者が少ないのが現状である。その在り方について検討の余地があると考えている。



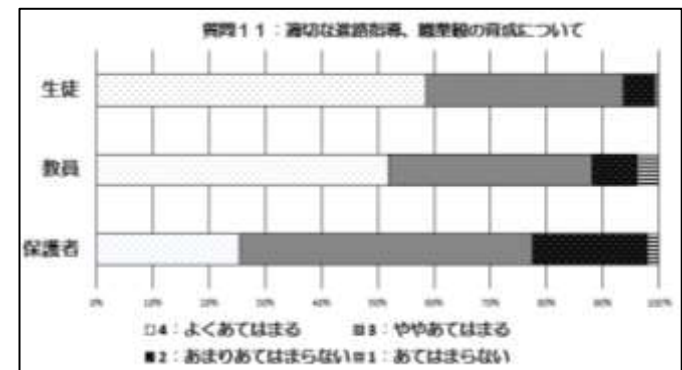
質問10 「健康安全な授業について」

三者ともに肯定的な意見が高い割合を示している。教員は、コロナ禍を通して衛生面での高い意識が身に付いたこと、緊急時の対応に係る研修が役立っている経験などから、高い割合となったと考えられる。



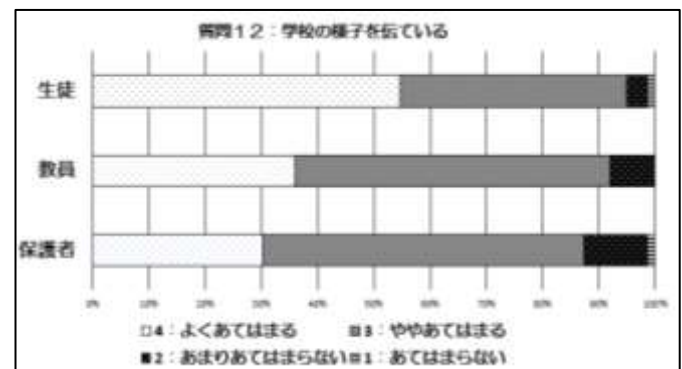
質問11 「進路指導（職業観の育成）について」

他のアンケートに比べて保護者の否定的な意見の割合が多い部分である。本校ではキャリア在り方生き方教育として、全学年で総合的な学習の時間を用いて進路学習などを行っている。しかしながら、この結果となったことは、改善の余地があると感じている。受験（検）指導のみでないキャリア教育の浸透を図れるように努めていきたい。



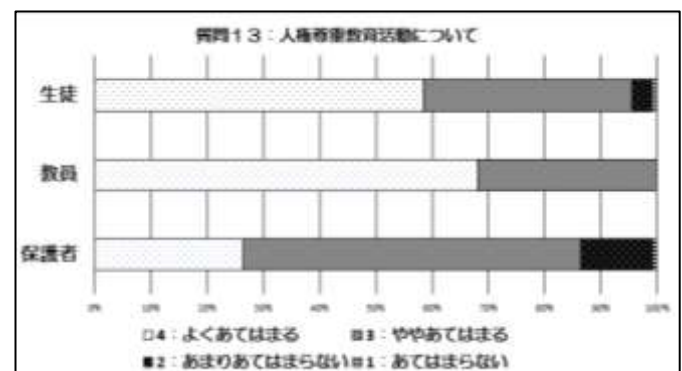
質問12 「学校の様子を伝えている」

例年、学校・学年だよりなどの紙面でのお便りを通して学校の様子を伝えている。今後は内容によってミマモルメなども活用しながら情報を発信し、学校の様子を伝えていきたい。



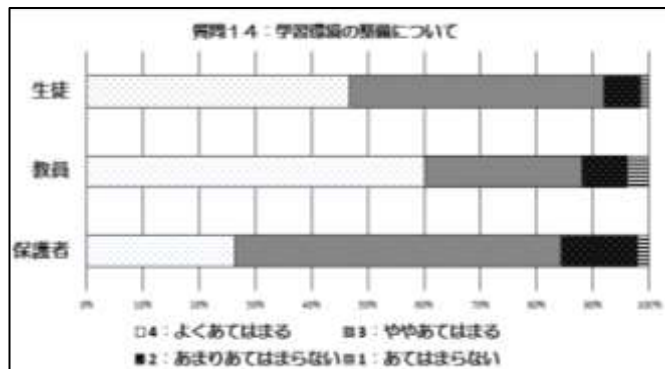
質問13 「人権尊重教育活動」

生徒、保護者ともに肯定的な意見が8割以上を占める結果となった。いじめや暴力のない学校づくりは生徒の安心安全な学校生活につながると考える。今後も多様性を尊重する人権尊重教育活動に取り組んでいきたい。



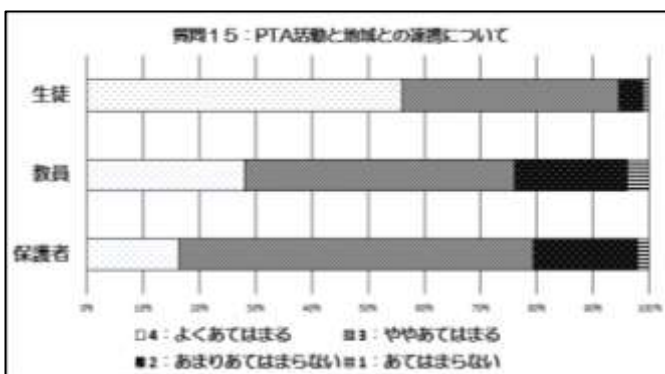
質問14 「学習環境の整備」

三者ともに肯定的な意見が8割以上を占める結果となった。ただ、時期や活動内容によって教室環境が散らかるようなこともあるので、日頃からの整理整頓と丁寧な清掃活動に努めたい。



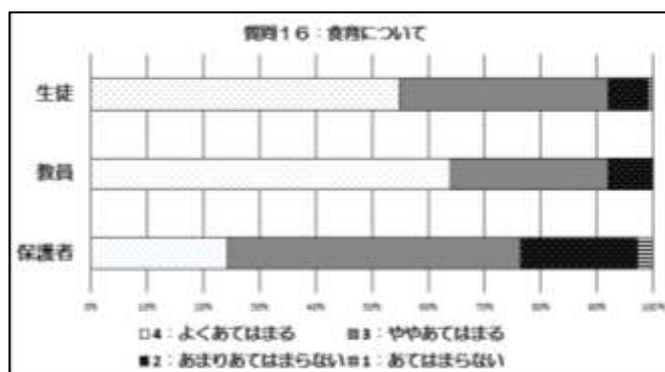
質問15 「PTA活動と地域との連携」

令和7年度は、PTAと避難所運営会議の連携のもと、防災学習とわいわいフェスティバルを併せて行うことができた。ここ数年来、新しいPTA活動の形を探りながら活動し、その都度ボランティアを募りながら活動をしている。今後も、充実した活動になるよう協力をお願いしたい。



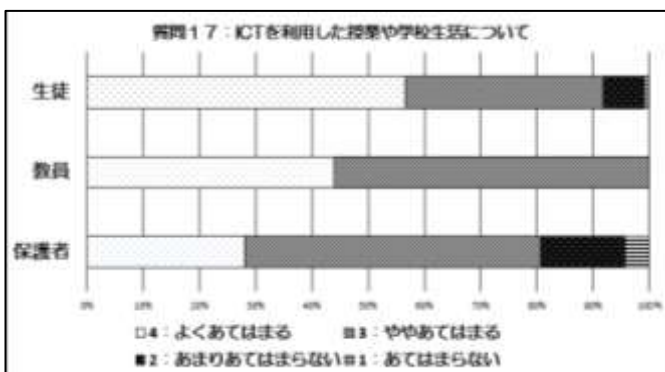
質問16 「食育について」

学校全体として、給食のみならず、授業や委員会活動など様々な面で食育に関して取り組んでいる。令和7年度は、給食試食会も実施し、保護者に向けて犬蔵中学校の食育についても広める機会を得た。今後もこのような取り組みを継続していきたい。



質問17 「ICTを活用した学習や学校生活」

全体的に肯定的な意見が多かった。「かわさきGIGAスクール構想」のもと、本校でも様々な学習活動においてICTを活用している。今では学校生活にすっかり溶け込んでいるが、引き続きより良い活用方法を模索していきたい。



いろいろな、たくさんのご意見をありがとうございました。来年度の学校運営に生かしていきたいと思っております。なお、学校自己評価については、3月にホームページにアップいたしますので、あわせてご覧下さい。